

2011年9月16日  
日本きのこ学会

### 猛毒きのこ・カエンタケ緊急注意報

写真のきのこは猛毒きのこ「カエンタケ」です。夏から秋にかけて、ブナやコナラなど広葉樹林の地上に発生します。形は上部が枝分かかれして、手の指状（火炎状）になり、色は鮮やかな朱色～赤色です。このきのこにはトリコテセン類の猛毒成分が含まれ、これまで新潟県などで中毒例があり2名が死亡しています。古くなると赤色が退色し、灰色になるためにほかのきのここと間違えて食することによって中毒したようです。

カエンタケはこれまでは稀なきのこでしたが、最近ではいわゆる「ナラ枯れ」によるコナラやミズナラなどブナ科植物の大量枯損にともなって、「ナラ枯れ」被害地のコナラやミズナラの切株周辺からも普通に発生するようになってきました。「ナラ枯れ」被害が急激に進行している西日本では、今後さらにカエンタケの発生事例が増大するものと思われ、市街地にまで「ナラ枯れ」被害が出始めた京都では人家のすぐ近くに発生しています。

カエンタケと思われるきのこを見つけたら、絶対に食べてはいけません。また、カエンタケは他の毒きのここと異なり、手で触れても危険です。触れると、やけどのようなただれた症状になる場合があるので、絶対にさわらないようにしてください。

#### 問合せ先

日本きのこ学会・事務局、担当：会見忠則  
〒680-8553 鳥取市湖山町南4丁目101番地  
鳥取大学農学部微生物資源学分野  
Tel/Fax: 0857-31-5372 (内5241)  
e-mail: [taimi@muses.tottori-u.ac.jp](mailto:taimi@muses.tottori-u.ac.jp)



(写真提供：中林芳光氏)